

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はあとm+M2新山口		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日	～	2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日	～	2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 26日	～	2026年 2月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3事業所	(回答数) 3事業所
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的視点でのフォロー	児発管が作業療法士のため、専門的な視点でアドバイス等行うようにしている。	相談支援や小児リハとも連携をとり、各専門的な視野でのアドバイスを受けていく。 個々のアドバイスだけでなく、集団での支援方法等も積極的にお伝えしていく。
2	関係機関との連携	利用を開始する前に、関係機関との訪問内容等を事前にしっかりと話し合いを実施後、実際に訪問に入る。 訪問後は、速やかに訪問結果内容を関係機関へ報告している。 翌月までに日程の調整も実施。	関係機関との信頼関係を構築するために、日頃の様子などの情報を密に報告する。 面談時に必要であれば、関係者にも同席依頼をする
3	保護者との連携	日頃より日々の困りごとや相談を随時受けて助言を行う。 相談しやすい環境づくりとして、送迎時にも話をすることと、ラインでの相談も受けている。	保護者との信頼関係を構築するために、日頃の様子などの情報を密に報告する。 保護者からの意見に対して率直に受け止め、できるだけ実現していくように努力をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の希望の通りに、訪問先と調整できず、支援できていない。	訪問予定先がサービスの必要性を感じられない。 訪問先が行事等の影響で事業所の希望日とあわない 感染症の流行により訪問自粛	訪問予定先にサービスの必要性をわかりやすく示し理解を深めていく。 緊急時、電話等での状況報告や、面談時に同席を依頼する
2			
3			